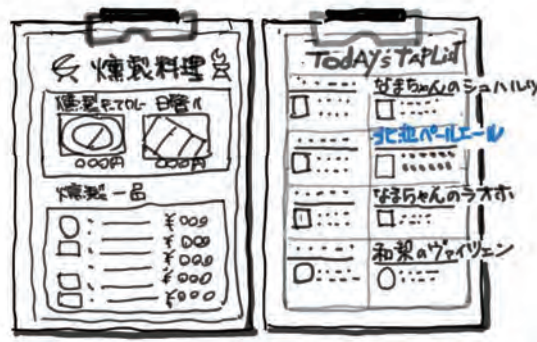


# 本町で醸造した地ビール

## シリーズ～まちの中の達人～



イラスト：井出幸子

池袋本町にビールの醸造所ができたと聞いて行ってみました。小中連携校の正門から西に100mほどのところにある「NAMACHAんスタンド北池袋店」です。令和4年3月に開店したばかりの新しいお店です。

お店はビールバーとなっており、くんせいも販売しています。店の奥には大きな300ℓのタンクが5つ並んでします。やはりこの場所でビールを醸造しているようです。メニューには「北池パールエール」の名前。醸造長のなまちゃんが池袋本町をイメージして作ったそうです。

お店のオーナーの山崎健太さんは、まだ40歳ながら、豊島区内に6店舗を持ち、そのうち3ヶ所でビールの醸造をやっているそうです。池袋本町のお店は第三醸造所になるとのこと。合せて13タンクで醸造しており、それぞれ特長のある地ビールをつくり、各店舗で味わうことができます。

池袋本町に出店することになったのは、本町の地域の方々との縁があったからだそうです。お店を出すからには地域に貢献したいと意気込んでいます。「北池パールエール」が、皆さんのイメージする本町と合うかどうか、試しに行かれてはいかがですか。



# 池袋本町 まちづくりニュース

Ikebukuro Honcho Machizukuri News  
**No.71**  
2023年3月発行

発行：池袋本町新しいまちづくりの会  
http://池袋本町.net  
豊島区都市整備部地域まちづくり課  
問い合わせ先：  
tel 03-3981-1464  
fax 03-3980-5135  
編集協力：防災アンド都市づくり計画室

**会員募集中**  
新しいまちづくりの会と一緒にまちづくりをしませんか。参加をご希望の方は事務局まで

## 不燃化特区の助成制度

豊島区が池袋本町地区などで行っている「不燃化特区制度」では、建築物の不燃化を促進するために、次の助成・制度等があります。

- 老朽建築物除却助成…老朽建築物の「解体・整地費用」の一部を助成
- 戸建建替え促進助成…建替えに係る費用(除却費、建築設計費及び工事監理費)の一部を助成
- 固定資産税・都市計画税の減免…最長5年間の税制優遇
- 専門家派遣制度…区が無料で専門家を派遣

※これらの助成・制度等を利用するには、それぞれに要件があります。  
※詳しくは豊島区都市整備部地域まちづくり課にご相談をお願いします。

## 防災街区整備事業工事完了 住み続けられるまちづくり



池袋本町三丁目で行われていた防災街区整備事業の工事が、令和5年1月11日に完了しました。ここは特定整備路線補助第82号線に面した街区で、25名の権利者の方が事業に参加したものです。敷地を一体化して総戸数88戸の共同住宅を建てました。そのうち約半数の45戸が権利者の住戸となっています。特定整備路線の区域に入ると、敷地が削られたり、地区外へ移転せざるを得ない方が出てしまいます。しかし、この街区では希望された方は地区内に残ることができました。

権利者住戸以外の43戸の住戸を不動産事業者が取得し、この事業の原資となっています。池袋本町・上池袋地区にお住まいの方は通常より3か月前に募集を行い、優先的に分譲されました。

### つれづれに一言

池袋本町三丁目 佐藤健一

私は、介護予防リーダーとして、いろいろ勉強する事で、フレイル(虚弱)予防には食事・運動・社会参加が重要であり、日本は地域包括ケアにより、自治体・企業・住民が一体となって、支え合っていく社会を目指している事を知りました。

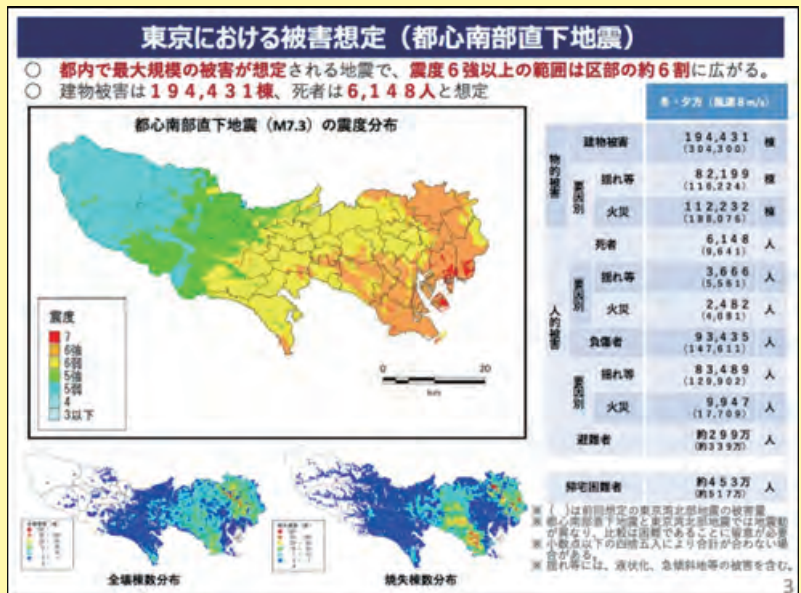
私もいま虚弱を感じています。この知識がなければ家庭に閉じこもっていたかもしれませぬ。池本だんだん公園の清掃・としま歴史文化探検隊・豊島みどりの会等の活動により、共に多くの体験をする中で信頼関係が出来、『人とのつながり』から来る刺激が予防には一番だと実感しています。

多くの方にまちづくりの地域活動に参加していただき『人とのつながり』を大事にして、良い地域づくり・まちづくりを一緒にしていきたいと思っています。

## 東京都の新たな被害想定

まとも  
都では令和4年5月に「東京都の新たな被害想定～首都直下地震地震等による東京の被害想定」を公表しました。10年ぶりの見直しです。今回の被害想定では、近年の研究をもとに震源の位置が「都心南部直下地震」「多摩東部直下地震」などを採用しました。またこの10年間で建物が建て替わったことも反映しています。豊島区に予想される震度は6弱(立っているのが困難、壁のタイルや窓ガラスが破損することがある等)となっています。

また今回は、あわせて「身の回りで起こり得る災害シナリオと被害の様相」も出されました。被災後3日、1週間、1ヶ月など時間経過に応じて、都内で起こりうる被災状況と生活回復で生じる問題を、具体的なイメージで紹介しています。是非、東京都ホームページ



東京都防災ホームページ「首都直下地震等による東京の被害想定」より

「新たな被害想定」で検索し、ご覧ください。  
なお、この見直しにともない、豊島区の「地域防災計画」についても、現在見直しを行っています。

# 新しいまちづくりの会の活動

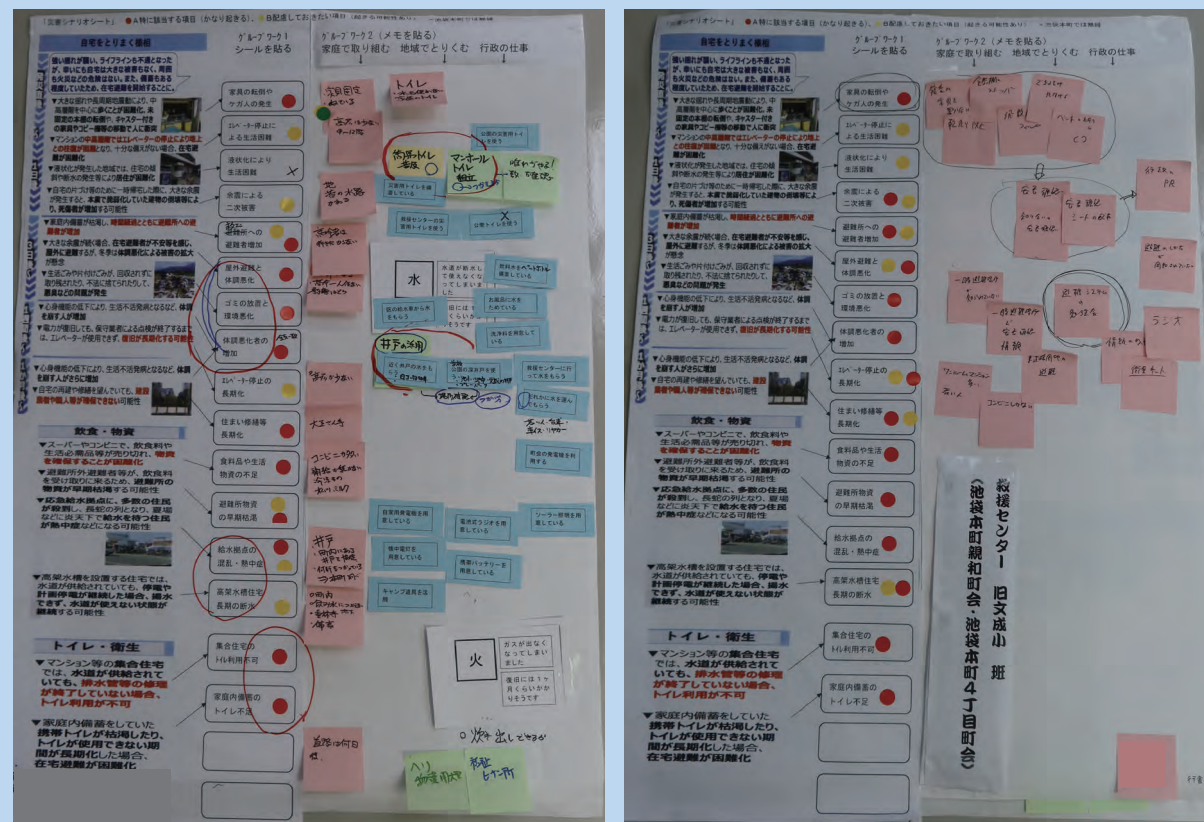
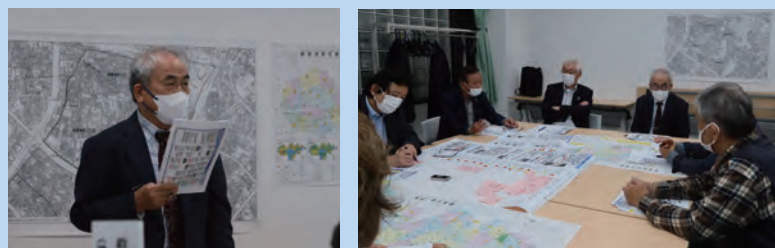
## 池袋本町で起こりそうな被害は…防災に関する検討会

令和4年10月18日(火)

新しいまちづくりの会では、東京都が令和4年5月に発表した被害想定災害シナリオを元に、池袋本町ではどのような被害が起こりそうかについて検討会を行いました。

当日は、被害想定作成に係り、災害シナリオの作成にもご尽力された東京都立大学の中林一樹名誉教授にもおいでいただき、2つのグループに分かれて「自宅をとりまく様相」について検討を行いました。家具の転倒、避難の方法、食料や水の確保、トイレなどの心配があるとの意見が多く、それらへの対策についても意見が出されました。

中林先生からは、災害シナリオを活用した検討会は都内でも初めてで、これを契機に自分ができることを考えてほしいとのご意見をいただきました。



# 都市計画道路の今…東京都第四建設事務所の説明

令和4年11月22日(火)

池袋本町新しいまちづくりの会では、用地買収が進む都市計画道路について、東京都第四建設事務所の担当者においでいただき説明を伺いました。

用地取得は、令和4年3月時点で補助73号線は約50%、補助82号線の西側は約74%の用地が取得済みになっているとのことです。事業は令和8年3月を目標に進めているそうです。池袋本町三丁目の都営住宅の駐輪場が道路用地にかかるため近くの区立池袋本町三丁目第2児童遊園の一部に駐輪場を移転する予定です。池袋本町三丁目4・5番あたりでは道路用地の空き地がまとまってきたので、緊急時の通行などを想定した仮整備を行う、などの説明がありました。

北池袋駅付近のアンダーパスは、池袋協和会の道路にかからない位置で掘り下げるように検討しているそうです。一方、下板橋駅付近は、北池袋駅を先行してアンダーパスの整備を進めるため、現時点では平面で道路を整備していくとのことです。



## 旧文成小に区の事務所と東京音楽大学の仮施設（区のおしらせ）



旧文成小学校は、令和4年9月まで池袋第一小学校の校舎建て替え中の仮校舎として使用しておりましたが、来年度からは、区の区民活動推進課統計調査グループの事務室（国勢調査などの統計を担当するグループ）や郷土資料館の作業場などとして利用することになりました。



また、区と大学連携を行っている東京音楽大学より、図書館と附属幼稚園が耐震改修工事を行う際の代替施設として旧文成小学校をお借りしたいという依頼が区にあり、当面の利用計画がないことから令和5年度は大学図書館の保管所、令和6年度は附属幼稚園として、校舎の一部をお貸しすることになりました。

池一小的子ども達からのお礼のポスター

## 大盛況…ひさびさの商人まつり 令和4年10月9日(日)~10日(月・祝)

2年にわたり新型コロナウイルスの影響で中止となっていた池袋本町商人まつりが行われました。久しぶりのイベントを待ちわびた人々で会場は大盛況、終日たくさんの方が楽しんでおられました。

池袋本町新しいまちづくりの会でも、ブースを出して参加しました。子供向けにいろいろなおもちゃを並べ、大人向けには地図に池袋本町地区の問題個所や良い所に丸シールを貼ってもらうアンケートを行いました。

